

木の祭り

新美南吉

青空文庫

木に白い美しい花がいっぱい咲きました。木は自分のすがたがこんなに美しくなったので、うれしくてたまりません。けれどだれひとり、「美しいなあ」とほめてくれるものがないのでつまらないと思いました。木はめつたに人のおらない緑の野原のまんなかにぽつんと立っていたのであります。

やわらかな風が木のすぐそばをとおって流れていきました。その風に木の花のにおいがふんわりのつていきました。においは小川をわたって麦畑をこえて、崖^{がけ}つぶちをすべりおりて流れていきました。そしてとうとうちようちようがたくさんいるじやがいも畑まで、流れてきました。

「おや」とじゃがいもの葉の上にとまっていた一ぴきのちようが鼻はなをうごかしていました。「なんてよいにおいでしよう、ああうつとりしてしまう。」

「どこかで花がさいたのですね。」と、別の葉べつにとまっていたちようがいいました。「きつと原っぱのまんなかのあの木に花がさいたのですよ。」

それからつぎつぎと、じゃがいも畑にいたちようちは風にのってきたころよいにおいに気がついて、「おや」「おや」といったのでありました。

ちようちは花のにおいがとてもすきでしたので、こんなによいにおいがしてくるのに、それをうつちやつておくわけにはま

いりません。そこでちようちようたちはみんなでそうだんをして、木のところへやっていくことにきめました。そして木のためにみんなで祭り^{まつ}をしてあげようということになりました。

そこではねにもようのあるいちばん大きなちようちようを先にして、白いのや黄色いのや、かれた木の葉みたいなのや、小さな小さなしじみみたいなのや、いろいろなちようちようがにのいの流れてくる方へひらひらと飛んでいきました。崖^{がけ}つぷちをのぼって麦畑をこえて、小川をわたって飛んでいきました。

ところが中でいちばん小さかったしじみちようははねがあまりつよくなかったので、小川のふちで休まなければなりませんでした。しじみちようが小川のふちの水^{みづ}草^{くさ}の葉にとまってやすんで

いますと、となりの葉のうらにみたことのない虫が一ぴきうつらうつらしていることに気がつきました。

「あなたはだあれ。」としじみちようがききました。

「ほたるです。」とその虫は眼めをさまして答えました。

「原っぱのまんなかの木さんのところでお祭りまつがありますよ。あなたもいらつしやい。」としじみちようがさそいました。ほたるが、

「でも、私わたしは夜の虫だから、みんなが仲間なかまにしてくれないでしょう。」といいました。しじみちようは、

「そんなことはありません。」といって、いろいろにすすめて、とうとうほたるをつれていきました。

なんて楽しいお祭りまつでしよう。ちようちようたちは木のまわりを大きなぼたん雪のようにとびまわつて、つかれると白い花にとまり、おいしい蜜みつをお腹なかいっぱいごちそうになるのでありました。けれど光がうすくなつて夕方になつてしまいました。みんなは、「もつと遊んでいたい。だけれどもうじきまつ暗くらになるから。」とためいきをつきました。するとほたるは小川のふちへとんでいつて、自分の仲間なかまをどつきりつれてきました。一つ一つのほたるが一つ一つの花の中にとまりました。まるで小さいちようちんが木にいっぱいともされたようなくあいでした。そこでちようちようたちはたいへんよろこんで夜おそくまで遊びました。

青空文庫情報

底本：「いんぎつね 新美南吉童話作品集」てのり文庫、大日本図書

1988（昭和63）年7月8日第1刷発行

底本の親本：「校定 新美南吉全集第三卷」大日本図書

1980（昭和55）年7月31日初版第1刷発行

初出：「幼稚園と家庭 毎日のお話」育英書院

1936（昭和11）年11月15日

入力：めいい

校正：鈴木厚司、もりみつじゅんじ

2003年9月29日作成

2012年5月8日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

木の祭り

新美南吉

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>